

2025年度 SDGs取り組みロードマップ表

2025.3.31

取組・活動内容	自動車・半導体関連の設備設計・製品設計・システム設計を主業務としている当社として「環境性能の良い車づくり」に貢献することがSDGsへの取組・活動の本命ゴールと考えている。そのためには当社の顧客である自動車メーカーに対し高い技術力すなわち品質・コスト・納期の面で”心ある技術”を提供し続けること。そのためにはより効率的かつ個性を生かした教育制度の充実、特に新人教育・OJT教育・昇格時教育には力を入れ、またCADスクールへの一般人の受入れなど人材育成に取り組んでいく。													
	目指すゴール	取組・活動内容とゴールとの関係	最終目標	2021年度目標		2022年度		2023年度		2024年度		2025年度	2026~2030年度	
				目標	達成率	目標	達成率	目標	達成率	目標	達成率	目標	目標	
1 モノづくりの発展に貢献（経済）		機械設計事務所として長年培ってきた当社独自のノウハウから”心”ある技術を創り出し、次世代製品（自動車）に対して最先端の技術を提供する。	①環境性能の良い車づくりを促進するために当社専従製品設計技術者の増員を図る（現状の1.2倍 <sup>(1)</sup> ）	・技術力の提供は質×量であるが、目標は量とし宣言書作成時点（7/17）の3より2024年度末には1.2倍の8名増を目指す。	3月末時点での稼働人員は3で1名増のため 達成率13%	2021年度と同じ	3月末時点での稼働人員は3で0名増のため 達成率0%	2021年7月時点の稼働人数3を2025年3月には1.3倍（12名）を目指す <sup>(2)</sup>	稼働人員は4で2名増のため 達成率17%	2023年度と同じ	稼働人員は45名で6名増のため 達成率50%	2022年度と同じ		
			②次世代車づくり、半導体関連の設備設計およびDXを含むシステム開発を充実させる（現状の1.2倍 <sup>(1)</sup> ）	・上記理由により宣言書作成時点（7/17）の3より2024年度末には1.2倍の7名増を目指す。	3月末時点での稼働人員は3で1名減のため 達成率△14%	2021年度と同じ	3月末時点での稼働人員は7で4名増のため 達成率57%	2021年7月時点の稼働人数3を2025年3月には1.3倍（11名）を目指す <sup>(2)</sup>	稼働人員は3で2名増のため 達成率18%	2023年度と同じ	稼働人員は36名で2名減のため 達成率△18%	2023年度と同じ		
			③個人の技術力を高めるため資格試験を推奨し、そのポイントの合計点を向上させる <sup>(3)</sup>	---	---	---	---	2021年7月時点のポイント790を2027年3月には1500を目指す	全社員の合計815ポイントで25P増のため 達成率3.5%	2023年度と同じ	全社員の合計815ポイントで25P増のため 達成率17.3%	2023年度と同じ		
4 5 6 働きやすさ・人材育成（経済）		経験の有無や性別にかかわらず、多様な人材が生き生きと働くことが出来る職場作りを目指し、技術向上を図ることが出来る環境・制度を整備する。	①働き甲斐がある職場づくりを実現するため、人事制度を再構築し、より生産性の向上（1.2倍）を目指す。	・人事制度の再構築	職能表・職務調査票の見直しで、50%	2021年度と同じ	職能表・職務調査票の見直し完了で、達成率100%	2021年度と同じ	職能表・職務調査票の見直し完了で、達成率100%	2021年度と同じ	職能表・職務調査票の見直し完了で、達成率100%	2021年度と同じ		
			②協会けんぽより、「健康経営優良法人認定」を受け、従業員のメンタルをきむ健康課題に取り組む。	・「健康宣言書」の16項目の個々について、取り組み計画を策定し、健康経営の道筋を立て、実行に着手する。	平均売上は5千円/人であったため 達成率8.6%	2021年度と同じ	平均売上は1千円/人であったため 達成率△7.6%	2021年度と同じ	「みんな元気2022活動」を実施した上に「フライト500」認定を得たため達成率100%	2021年度と同じ	上期・下期とも「みんな元気2022活動」実施により達成率100%	2021年度と同じ	上期・下期とも「みんな元気2022活動」実施により達成率100%	「みんな元気活動」により、具体的実施項目の平均35ポイントを目指す
			---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	「みんな元気」活動により有所見率60%以下を目指す	2026年下期までに禁煙率21%→6%を目指す
7 8 9 社会貢献（社会）		社会貢献活動やCADスクールを通じてモノづくりへの関心を高める活動を通じて地域コミュニティとの交流や地域愛を創出。持続可能で住みやすい街づくりに貢献していく。	①観光振興や街づくりのための地区や子供食堂への寄贈（年4件）	・CO2測定器（15台）を区役所に寄贈 ・子ども食堂支援（市青少年局へ50万円） ・地域の観光振興団体に無線マイク20台寄贈（2件）	いずれも達成100%		・緑区区民まつりに協賛金支援（5万円） ・子ども食堂へ10万円支援（4件）	子ども食堂への支援は3件のため 達成率88%	2022年度と同じ	緑区区民まつりと子ども食堂へ寄付（うち1件は5万円） 達成率94%	2022年度と同じ	緑区区民まつりと子ども食堂へ寄付（4件） 達成率100%	・緑区区民まつりに協賛金支援（5万円） ・子ども食堂へ8万円支援（3件）	
			②鳴海地区への教育機関等への寄贈（年2件）	・鳴海小学校および他教育機関に教材寄贈（2件目標）	1件のみで50%	2021年度と同じ	鳴海・平子小学校へそれぞれ教材寄贈 達成率100%	2021年度と同じ	熊ノ前小学校、大高中学校へそれぞれ教材寄贈 達成率100%	2021年度と同じ	二村台小学校、有松小学校へそれぞれ教材寄贈 達成率100%	2021年度と同じ		
			③CADスクールを通じた社会的弱者への就業支援（年4件）	・実質1万円で受講できるCADコース新設（受講者30名目標） ・就業支援相談（4件目標）	入校者5名で達成率16%		・CADスクール入校者年間30名を目指す ・就業支援相談者4件を目指す	入校生36名の実績、就業支援者は0件で（1項目50%） 達成率50%	2022年度と同じ	入校生24名の実績、就業支援者は0件で 達成率40%	2022年度と同じ	入校生28名の実績、就業支援者は1件で 達成率72%	2022年度と同じ	
10 11 12 13 環境対策（環境）		当社オフィスでのグリーン電力の利用促進に積極的に取り組み、地球温暖化対策など環境負荷軽減に貢献していく。	①ペーパーレス化推進（現状の80%）	・社内基準書作成。（本社にて評価委員会を設立し、各年の年末に達成度を評価）	達成率165%	2021年11月実施の省エネ診断値150Kg（CO2換算）の80%を目指す	2022年11月実施の省エネ診断値90Kg（CO2換算）のため 達成率100%	2022年度と同じ	2023年11月実施の省エネ診断の結果90Kg（CO2換算）で 達成率100%	2022年度と同じ	2024年11月実施の省エネ診断の結果昨年と同様90Kg（CO2換算）で 達成率100%	2022年度と同じ		
			②省エネ診断を実施 ③当社全館LED照明の導入、省エネ空調設備の導入（100%）	・省エネ診断の実施 ・当社全館LED照明および省エネ空調設備の導入	達成率100%	21年11月実施の省エネ診断値16523Kwの90%（14870Kw以下）を目指す	2022年11月実施の省エネ診断値15087Kwのため 達成率87%	2022年度と同じ	2023年11月実施の省エネ診断値12168Kwのため 達成率100%	2022年度と同じ	2024年11月実施の省エネ診断値12775Kwのため 達成率100%	2022年度と同じ		
			④環境性能の高い車両を購入した従業員には奨励金を支給	・社員よりの申し出により、1車両につき2万円補助	申出者0のため評価外	社員より4件の申し出（2万円/1車両）	2件の申し出により 達成率50%	2022年度と同じ	0件の申し出により 達成率0%	2022年度と同じ	0件の申し出により 達成率0%	2022年度と同じ		
			⑤植樹活動（社員自主活動） ⑥アウトレットを収集し寄贈活動（社員自主活動）	・左記目標の具体的作業の方向性を策定し、全社員に告知する。	⑤⑥共未実施のため0%	最終目標⑤および⑥の実施を目指す。	未実施のため0%	2022年度と同じ	新卒社員によるアウトレット（学用品）収集活動を行い 達成率50%	2022年度と同じ	⑤⑥とも未実施のため 達成率0%	2022年度と同じ		

(1)目標年度と増員人数を見直し変更した。(2)システム系の目標年度と増員率、およびシステム系配属の定義を変更した。(3)本命ゴールを達成するために技術力の質的向上の側面から項目を追加することとした。